

令和4年 第34回高坂丘陵地区夏祭りについてのアンケート結果

回答者

23人

【問1】 夏祭り実行委員を経験して感じたこと

- ① 楽しかった → 0人 (0%)
- ② まあまあ楽しかった → 17人 (73.9%)
- ③ 何も感じなかった → 1人 (4.3%)
- ④ あまりやりたくなかった → 2人 (8.7%)
- ⑤ 苦しかった (嫌だった) → 3人 (13.0%)
 - ・オンライン参加があればよかった

【問2】 次回以降、機会があった場合にお答えください

- ① 是非やってみたい → 1人 (4.3%)
- ② 機会があればやってみたい → 7人 (30.4%)
- ③ どちらともいえない → 10人 (43.5%)
- ④ あまりやりたくない → 4人 (17.4%)
- ⑤ 二度とやりたくない → 1人 (4.3%)

【問3】 夏祭り実行委員会を各自治会選出役員と推進委員（経験者）とで組織しましたが、そのことについてお答えください

- ① 大変良かった → 7人 (30.4%)
- ② まあまあ良かった → 6人 (26.1%)
- ③ 経験者の言いなりで独自性がなかった → 4人 (17.4%)
- ④ 何も感じなかった → 2人 (8.7%)
- ⑤ 推進者のサポートが不十分・不適切だった → 3人 (13.0%)
- ⑥ 無回答 → 1人 (4.3%)

【問4】 コロナウイルス感染防止対策（会場入口における対策）について

- ① 十分である → 15人 (65.2%)
- ② 不十分である → 5人 (21.8%)
 - ・指定した入口以外からは場内に入れないようにする
- ③ 無回答 → 3人 (13.0%)
 - ・十分なのか不十分かわからない。どうすればよいか情勢を見ていく

【問5】 開催可否判断は自治会丘陵支部役員（新旧役員）において緊急事態宣言等が出された場合は中止するとの条件で、開催が決定されましたが、来年の開催可否判断についてお答えください

- ① 今年と同様、第一回自治会丘陵支部役員会にて決定し、決定理由を住民にも周知する
→ 10人（43.5%）
- ② 少しでも新型コロナウイルス感染に不安がある場合は中止すべき
→ 6人（26.1%）
- ③ 災害時における地域住民の連携・絆対策の為にも開催することを模索すべき
→ 6人（26.1%）
- ④ その他
→ 1人（4.3%）

・夏祭りは、住民の、住民による、住民のためのお祭りですから、住民の皆さんがコロナ禍でもやりたいか否か、初めにアンケートを取るべきだったと思います（各班で回覧文書に○×をつけてもらえば簡単です。我々のエステ松風台七班はアンケートを取りましたが、10人中9人がやるべきでないという回答でした）。その当初のボタンの掛け違いで、ずいぶん無駄をしたと思いますけれど、来年度の申し送り事項としてご勘案いただければ幸いです

・今年は何の段階で決定されたのか？多数決がとられたのかよくわかりませんでした。各自治会役員に申し開きも必要と思います。

・新型コロナウイルスが全く未知のものである段階であれば延期すべきと思います

※夏祭りについて、提案・感想。意見など、下記にご記入願います。来年以降の参考にさせていただきます。

- ・実施できなかったことは残念でしたが次回に繋げる対応をしたい。
- ・模擬店の準備（人員の配置等）は大変でした。各自治会においても担当者は、経験者の方がいれば助言だけでも助かったと思います。
- ・飲食ブースは密を避けるため、分散させたほうが良いと思う
- ・子供からお年寄りの方々が一堂に楽しめる場として、丘陵夏祭りは、毎年一回開催することは必要と考えます。33回も継続し続けている地区行事として来年以降も企画実行するようお願いします。
- ・開催できる状況になったらぜひとも開催してほしいと思います。
- ・各セクションに経験者（?員）を充実し、指導??してゆく。本年役員の留任が望ましい。
- ・実施、中止の判断は種々の実情の合わせて決定するしか仕方なく、早めに役員への通知相談により決定すべき
- ・今回の協賛金を丁寧に返金し、礼を尽くしたことは、今後につながると思われる。
- ・今回の実行委員会及び準備は無駄ではない来年へのシミュレーションと思う
- ・執行部の皆様大変ご苦勞様でした。今後とも地域の発展のため頑張ってください。
- ・来年度の最初の役員会で夏祭り開催の決定
- ・決定理由についての早めの周知

- ・開催のためのポジティブな検討
- ・その時の情勢の見極め
- ・できる限りの簡素化（部門の見直しを含む）
- ・とにかくできることを考えましょう
- ・地域住民の連携・絆のために夏祭りを実施しているということはよくわかりました。未来を担う子供達のために多くの方が都合をつけ、ご尽力いただいていることを知り、大変うれしく思いました。素晴らしい行事と存じます。しかしながら、私には、会合の出席が負担でありました。コロナのために夫が長期不在で会議参加時には、小学生の子供を一人家においていかなければなりません。普段仕事で帰りが遅いのに、会合のためにまた一緒にいてやれないことが心苦しく、また、家にひとりである間に大地震が起きたらどうしよう等心配はつきません。オンラインでの参加が可能であれば、もう少し積極的にお手伝いすることができたかなと思います。残念ながら、今年は開催できませんでしたが、皆様の思いが届き、強い絆で結ばれた高坂丘陵地区夏祭りが来年には開くことができることを願っています。
- ・自治会選出実行委員について、夏祭り実行委員会と兼任にならないように選出したほうが良いと思います。兼任とせず選出した自治会としては、毎回の会議で自治会選出実行委員も出席しなければならないのか、出席しなくても良いのか最後まで分かりませんでした。別途会議については、出欠確認を取って、欠席した人には情報共有できるような基準を明確化させたほうが良いと思います。
- ・できるだけ現役員が主となり推進委員の方はサポートに回っていただけると良いと思いました。
- ・少しでも参考にできるものがあれば良いと思いました。例えば警備する場所など何人どこにとか？図になっていたらもっといいかと思います。
- ・夏祭り開催について住民アンケートをとれば、不開催になると思います。
- ・開催の意義は地域住民の連携絆対策の為とは、と思いますが、小規模の縮小等検討していくべきと思います。
- ・毎年変わる自治会長を担当部門の責任者にするのではなく経験豊富な本部役員が各部門の責任者になるほうが効率よく進められる。